

カザフ国立大学
アジア共同体講座

実施期間：2016年9月～2016年12月

- 第1回 「将来のアジア共同体の意義」
(9月07日) Soon-ok Myong (カザフ国立大学教授、文化人類学)
- 第2回 「南北朝鮮の当今の関係」
(9月14日) Men Dmitri (カザフ国立大学教授、政治学)
- 第3回 「東アジアの地域紛争」
(9月21日) Chun Byong-soon (カザフ国立大学教授、政治学)
- 第4回 「最近の朝鮮半島情勢をめぐる東アジアの力学」
(9月28日) Chun Byong-soon (カザフ国立大学教授、政治学)
- 第5回 「社会的統合の障害と、社会における“我らと彼ら”間の根深い隔たり」
(10月05日) Myong Soon-ok (カザフ国立大学教授、文化人類学)
- 第6回 「朝鮮独立行動の末裔と、歴史的悲劇の深い痛みを克服する道」
(10月12日) Ge Nikolai (社団法人 Doknip 議長)
- 第7回 「モスクワのユーラシア観」
(10月19日) Arslan Mehmet (カザフ国立大学准教授、地政学)
- 第8回 「中間試験(講座受講者によるアジア共同体に関するプレゼンテーション)」
(10月26日) Chun Byong-soon、Myong Soon-ok
- 第9回 「生態系と宗教 – 統合することは可能か」
(11月02日) Gulnar Nadirova (カザフ国立大学教授、アラブ言語)
- 第10回 「中央アジアとアジアの言語の類似性と差異性」
(11月09日) Baiyan Zhubatova (カザフ国立大学教授、文献学)
- 第11回 「ワンアジアにおけるトルコ世界の役割と位置」
(11月16日) Tursun Gabitov (カザフ国立大学教授、文化論)
- 第12回 「新興多文化社会の文化境界：韓国への結婚移住者の現実問題」
(11月23日) Natalya Yem (カザフ国立大学准教授、歴史)
- 第13回 「シルクロードと考古学から見た古代のワンアジア」
(11月30日) Kang Georgy (リュスクロフ・カザフ経済大学教授、歴史)
- 第14回 「情報環境グローバル化におけるアジア諸国(日、中、韓等)の国営情報メディアの役割強化」
(12月07日) Galiya Ibrayeva (カザフ国立大学教授、ジャーナリズム)
- 第15回 「総括講義：将来のアジア共同体」
(12月14日) 佐藤洋治 (ワンアジア財団理事長)

※講義日程および内容は講師の都合等により変更になることがあります。